

目次

1 序文.....	2
2 安全上の注意事項.....	4
3 バイクのご利用.....	7
3.1 EnergyPak.....	7
3.1.1 使用開始にあたって.....	7
3.1.2 EnergyPak Smart (内蔵型)	7
3.1.3 EnergyPak Smart (コンパクト)	9
3.1.4 EnergyPak Smart 250.....	10
3.1.5 EnergyPakサイドリリース.....	11
3.1.6 EnergyPakキャリア.....	12
3.2 充電器.....	13
3.2.1 スマートチャージャー.....	14
3.2.2 スマートチャージャー (コンパクト)	16
3.2.3 急速充電器.....	17
3.2.4 充電.....	18
3.2.5 充電時間.....	21
3.3 コントロール.....	22
3.3.1 RideControl Ergo.....	22
3.3.2 RideControl Ergo 2.....	26
3.3.3 RideControl Ergo 3.....	30
3.3.4 RideControl Dash.....	33
3.3.5 RideControl GO.....	38
3.3.6 RideDash EVO.....	42
3.3.7 STILレバー.....	46
3.4 キー.....	46
3.5 走行距離.....	47
4 運搬および保管.....	48
5 メンテナンス.....	50
6 廃棄.....	52
7 法的書類.....	53
7.1 保証.....	53
7.2 除外.....	54
7.3 適合性.....	54
7.4 免責事項.....	54
7.5 FCC.....	55
7.6 IC.....	55

1 序文

ようこそ

この度はGIANT、Liv、またはMomentumの新しいEバイクをお買い上げいただきありがとうございます。ご購入いただいたEバイクの種類を問わず、すぐにEバイクに乗る楽しさをご体験いただけるでしょう。

本マニュアルのご使用方法

このマニュアル書は、ご購入いただいたEバイクについての簡単なご説明を目的としています。本文書には必須の安全情報、およびEバイクの主な構成部品や機能の一部について、概要をまとめました。Eバイクをご使用になる前に、ウェブサイトのサポートセクションにアクセスの上、サイトでご入手いただける広範囲な情報を閲覧やダウンロードしていただくことも重要です。Eバイク固有の情報のほか、バイクオーナーズマニュアルに記載の一般情報も必ずご一読ください。



本マニュアルに記載される図は、お使いのEバイクモデルの構成とは詳細が異なる場合があります。図は一般的な参照情報で、取扱説明を行うことのみを意図しています。

本マニュアルで使用されている記号



警告： 安全に関する指示を守らない場合、死亡、重篤な身体損傷、深刻な物的損害につながる状況について警告します。



注意： 安全に関する指示を守らない場合、身体損傷または物的損害につながる状況について警告します。



注記： 問題を避けるために重要な情報を提供しています。



情報： 付加的な情報を提供しています。

情報リソースとダウンロード

GIANT: <https://www.giant-bicycles.com/global/manuals>



LIV: <https://www.liv-cycling.com/global/manuals>



MOMENTUM: <https://www.momentum-biking.com/global/manuals>



その他、自転車部品および保証に関する情報は、一般的なバイクオーナーズマニュアルをご覧ください。

サービスおよびサポート

本マニュアルは、サービス、メンテナンスや修理に関する詳細な参照資料ではありません。サービスや技術サポートについては、取扱店/販売店にご連絡ください。

2 安全上の注意事項

自転車の安全な使用

一般道路でEバイクを使用する前に、電動アシスト付きバイクに乗り慣れるために、安全な場所で乗車してください。バイクのすべての設定を試し、乗車に慣れてください。



警告：

- あらゆる状況に素早く対応できるように、走行中は必ず両手でハンドルバーを握り、ブレーキレバーがすぐに使える位置にあることを確認してください。注意を怠ると、自転車のコントロールを失う恐れがあります。
- ライディングの都度、ステアやブレーキといったバイクの技術的状态やすべての重要機能のライド前チェックを行います。
- バッテリーを正しい位置にしっかりと固定してください。
- 固定具はすべて正しくきっちりと締めるようにしてください。
- ライディング中に故障する可能性のある、摩耗、損傷したパーツがないことを確認してください。

バッテリーと充電器

バッテリーと充電器をお取り扱いの際は、以下の情報すべてをご考慮ください。



警告：

- バッテリーはお子様やペットの手の届かないところに置いてください。
- バッテリーと充電器は水や直火から離しておいてください。
- バッテリーと充電器は落としたり、大きな衝撃を受けることがないようにしてください。
- バッテリーは、Eバイクに装備された充電器、または正規ディーラーが販売するスベア/交換用充電器でのみ充電してください。
- バッテリーと充電器を他の目的で使用しないでください。
- バッテリー端子同士をつなぐことは絶対におやめください。
- 充電中にバッテリーと充電器を覆ったり、その上に物を置かないようにしてください。
- 充電中にバッテリーと充電器を放置しないでください。
- 異様な臭いや煙に気付いた場合、直ちに充電器とバッテリーの接続を外してください。
- 万が一、バッテリーに火がついた場合は、水で火を消そうとするのは絶対にやめてください。上から大量の砂をかけて火を覆い、直ちに救急隊を呼んでください。



注意： 充電操作中、バッテリーと充電器との接触を避けます。充電中は、充電器が熱くなることがあります。



注記： バッテリーの寿命が来た場合は、有害廃棄物として処理する必要があります。一般家庭ごみで廃棄することはできません。バッテリーの正しい廃棄については、担当の取扱店/販売店にお問い合わせください。

キャリア



警告： キャリアに載せた荷物やチャイルドシートが、メーカーの取扱説明に従ってしっかり固定されていることを確認してください。また、ストラップや他の物がゆるんでいないことを確認し、タイヤに絡まることのないようにしてください。



注意：

- 荷物を安全に載せることができるのは、キャリアのみです。バイクの他の部分には荷物を載せないでください。
- キャリアに物を積んでいる場合、自転車の動きが異なる場合があります（特にステアリングとブレーキ）。
- EnergyPakを含む最大リアキャリア積載重量：22 kg



注記：

- 荷物をキャリアに載せた場合に隠れないよう、リフレクターとランプの位置を確認して調整するようお勧めします。
- 一部のバイクでは、バッテリーホルダーとキャリアが一体型となっています。バッテリーやホルダーの損傷の原因にならないように、荷物がしっかりと固定されていることを確認してください。



情報： 荷物は、キャリアの両側に均等に分けて載せるようお勧めします。



注意：

- 取り付け、使用、安全に関する注意事項については、必ずチャイルドシートのメーカーの取扱説明書にしたがってください。絶対にチャイルドシートに合わせてEバイクに標準装備の部品を変更/改造しないでください
- 本書内に記載されているEバイクの積載重量や許可されている合計積載荷重を絶対に超えないでください。
- チャイルドシートの使用は、Eバイクの電気部品や機械部品にかかる負荷応力や摩耗の増加につながります。
- サドルの下のコイルスプリングが剥き出しになっているサドルが取り付けられたバイクでチャイルドシートを使用する場合、コイルスプリングにお子様の指が挟まり、お子様がけがをするリスクが非常に高くなります。お子様の指が挟まることを防ぐため、適切な対策を取ってください。
- キャリアに付属の説明書をよく読み、最寄りの取扱店/販売店に問い合わせるなど、取り付け、最大荷重、トルクの仕様、パーツの仕様、対応する最大ホイールサイズ、トレーラーおよびチャイルドシートの互換性などを必ず確認してください。
- メーカー、輸入業者および販売店の名前や住所、商標、モデル、製品バッチ番号または参照番号などに関する情報は、キャリアの書類またはキャリア本体に記載されている情報を確認してください。

3 バイクのご利用

3.1 EnergyPak

EnergyPakは、Eバイクシステムの動力源となる充電式バッテリーです。EnergyPakは、様々な形、サイズ、エネルギー容量、互換性のものを取り揃えています。Eバイクのモデルによって、色々な場所に取り付けることができます。EnergyPakは、Eバイクに装備された純正の充電器で充電してください。



注記：

- EnergyPakのタイプ、バージョンの一部は、本マニュアルに掲載されていません。各種EnergyPakに関する詳しい情報は、ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。
- 各EnergyPakの正確な技術仕様などの詳細情報については、EnergyPakの印刷ラベルに記載されています。

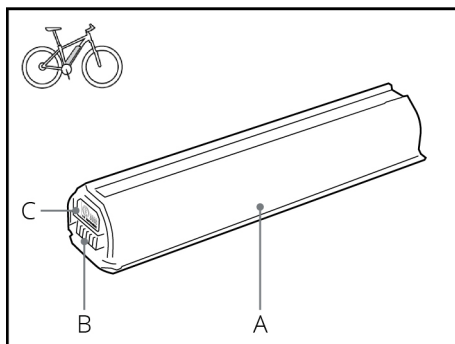
3.1.1 使用開始にあたって

- 各EnergyPakシステムは、出荷前に工場で動作しないよう設定されています。
- EnergyPakは、アクティベートするまでは機能しません。
- EnergyPakを動作させるには、充電器で充電してください。
- ご利用開始の前には、新しいEnergyPakをフル充電されることをお勧めします。
- EnergyPakは、初回の使用時にはパフォーマンスを最大限発揮しないこともあります。
- EnergyPakの性能は、（走行による）放電・再充電のフルサイクルを何度か経た後に安定します。

3.1.2 EnergyPak Smart (内蔵型)

説明

- A。 EnergyPak
- B。 充電用ソケット
- C。 エネルギーレベルインジケータ

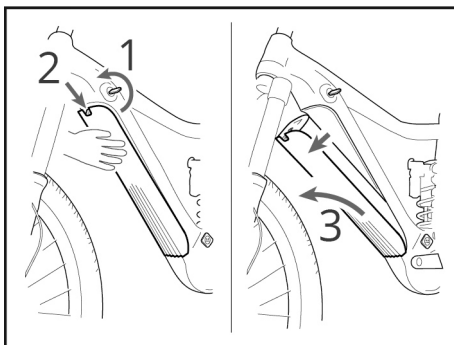




注記： EnergyPakを取り外す前に、必ず電源を切ってください。

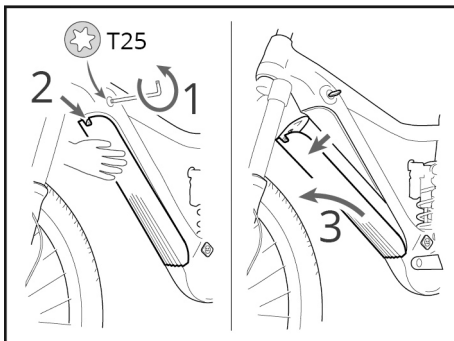
EnergyPakの取り外し（キーロックタイプ）：

- ・ フレームに内蔵されているバッテリーがロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- ・ キーを差し込み、EnergyPakのロックを解除します。EnergyPakがわずかに外側に外れます。
- ・ - トップローディング内蔵型バッテリーのみ：EnergyPakを持ち上げて外します。
- ・ 落下防止保護レバーを押し、てEnergyPakのロックを完全に解除します。
- ・ バッテリーをバイクから取り外します。



EnergyPakの取り外し（トルクスロックタイプ）：

- ・ フレームに内蔵されているバッテリーがロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- ・ サイズ25のトルクスツールを差し込み、反時計回りに回して、EnergyPakのロックを解除します（ねじは取れない仕組みになっているため、ねじが完全に外れることはありません）。
- ・ 落下防止保護レバーを押し、てEnergyPakのロックを完全に解除します。
- ・ バッテリーをバイクから取り外します。



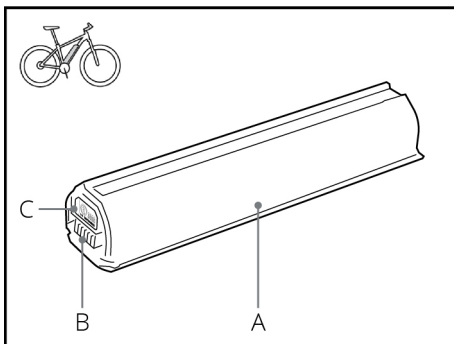
EnergyPakの取り付け

- 取り外しと逆の手順でEnergyPakを取り付けます。
- 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPakの上の部分を押し、EnergyPakが適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- キーを抜きます。

3.1.3 EnergyPak Smart (コンパクト)

説明

- A。 EnergyPak
- B。 充電用ソケット
- C。 エネルギーレベルインジケータ



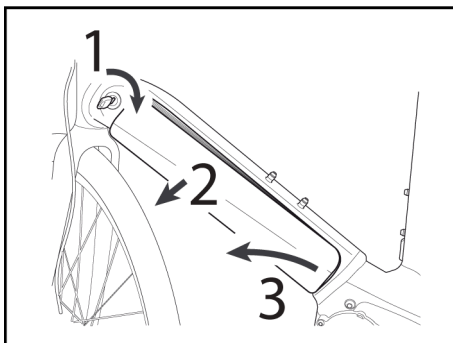
取り付けと取り外し



注記： EnergyPakを取り外す前に、必ず電源を切ってください。

EnergyPakの取り外し：

- フレームに内蔵されているバッテリーがロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- キーを差し込み、EnergyPakのロックを解除します。EnergyPakがわずかに外側に外れます。
- バッテリーをバイクから取り外します。



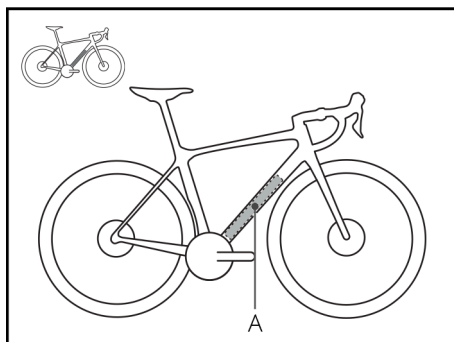
EnergyPakの取り付け

- 取り外しと逆の手順でEnergyPakを取り付けます。
- 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPakの上の部分を押し、EnergyPakが適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- キーを抜きます。

3.1.4 EnergyPak Smart 250

説明

A. EnergyPak

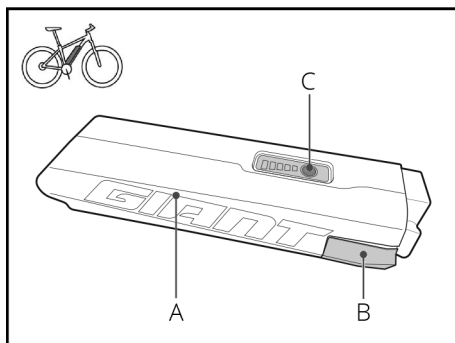


注記： EnergyPak Smart 250の着脱は、認定を受けた整備士のみが行えます。

3.1.5 EnergyPakサイドリリース

説明

- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ



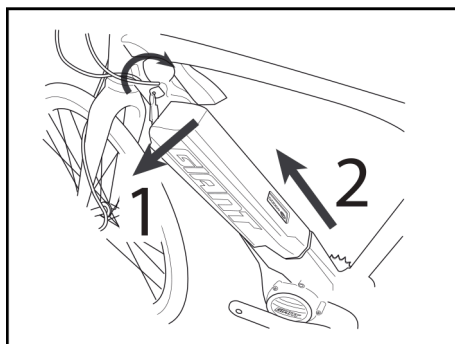
取り付けと取り外し



注記： EnergyPakを取り外す前に、必ず電源を切ってください。

EnergyPakの取り外し：

- フレームに内蔵されているバッテリーがロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- キーを差し込み、EnergyPakのロックを解除します
- EnergyPakの上部を横方向へ引きます。
- EnergyPakを持ち上げて、バイクから取り外します。



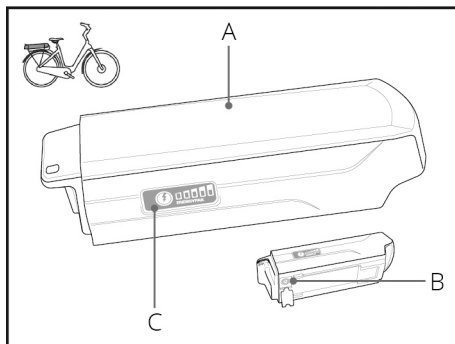
EnergyPakの取り付け：

- 取り外しと逆の手順でEnergyPakを取り付けます。
- 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPakの上の部分を押し、EnergyPakが適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- キーを抜きます。

3.1.6 EnergyPakキャリア

説明

- A.** EnergyPak
B. 充電用ソケット
C. エネルギーレベルインジケータ



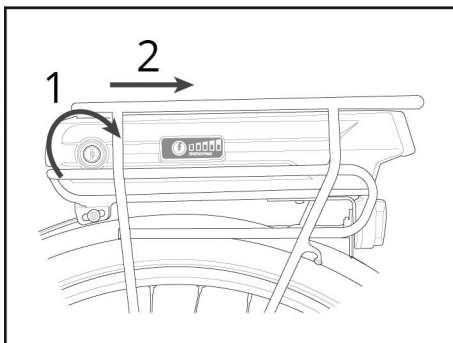
取り付けと取り外し



注記： EnergyPakを取り外す前に、必ず電源を切ってください。

EnergyPakの取り外し：

- キーを差し込み、EnergyPakのロックを解除します
- グリップを掴み、EnergyPakを後方に引きます。
- EnergyPakを引っ張り出します。



EnergyPakの取り付け：

- 取り外しと逆の手順でEnergyPakを取り付けます。
- 下の部分でスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPakを前方に押し、EnergyPakが適切に固定されたことを確認します（固定の際に「カチッ」という音が聞こえます）。
- キーを抜きます。

3.2 充電器



注意：

- Eバイク付属、または正規取扱店/販売店が提供する適切な充電器のみをご使用ください。



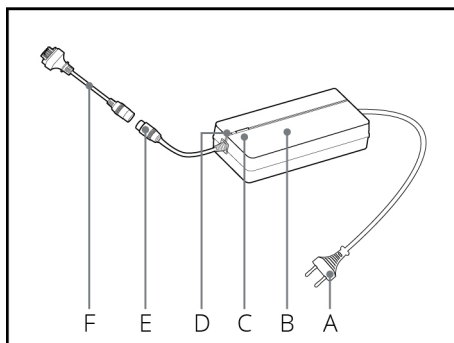
注記：

- 充電器のタイプ、バージョンの一部は、本マニュアルに掲載されていません。充電器に関する詳しい情報は、ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。
- 正確な技術仕様などの詳細情報については、充電器の印刷ラベルに記載されています。

3.2.1 スマートチャージャー

説明

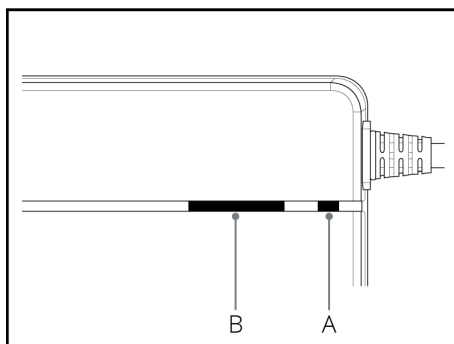
- A. ACソケット
- B. 充電器
- C. ボタン/LED
- D. LED
- E. 充電用ソケット
- F. アダプタケーブル



LEDの説明

A。 LED

B。 ボタン/LED

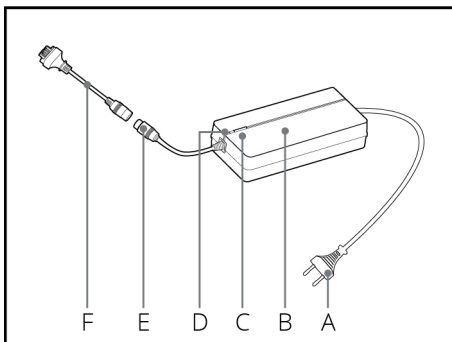


LED/ボタン	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 >	順序	電源オンセルフテスト（起動）
B	緑 > 赤 > オフ		
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅（0.5秒間隔）	充電が有効
A	緑	点滅（1.0秒間隔）	バッテリー温度タイムアウト
A	緑	点灯	充電完了
A	赤	点滅（0.5～1.5秒パターン）	充電の問題
B	該当なし	ボタンを押す	長期保管充電（60%充電）モード有効化
B	黄	点灯	60%充電モードが有効

3.2.2 スマートチャージャー (コンパクト)

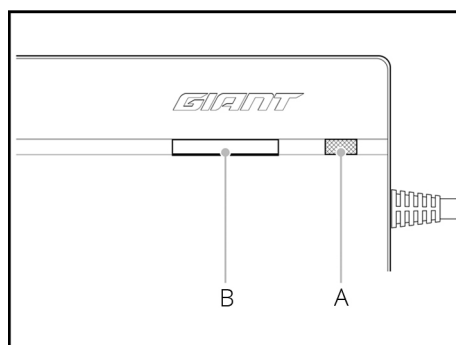
説明

- A. ACソケット
- B. 充電器
- C. ボタン
- D. LED
- E. 充電用ソケット
- F. アダプタケーブル



LEDの説明

- A. LED
- B. ボタン

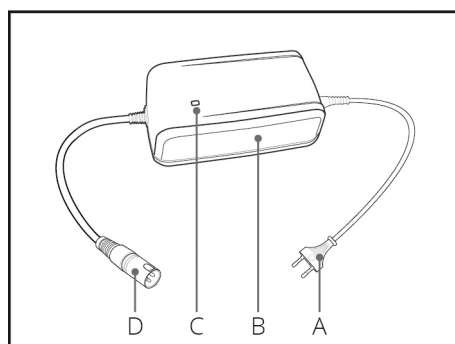


モード	LED/ボタン	色	動作	ステータス
すべて	A	赤 > 緑 >	順序	電源オンセルフテスト (起動)
すべて	A	赤	点灯	バッテリー未接続
通常充電 (100%)	A	緑	点滅 (0.5秒間隔)	充電が有効
通常充電 (100%)	A	緑	点滅 (1.0秒間隔)	バッテリー温度タイムアウト
通常充電 (100%)	A	緑	点灯	充電完了
	B		ボタンを押す	長期保管充電 (60%充電) モード有効化
長期保管充電 (60%)	A	黄	点滅 (0.5秒間隔)	充電が有効
長期保管充電 (60%)	A	黄	点滅 (1.0秒間隔)	バッテリー温度タイムアウト
長期保管充電 (60%)	A	黄	点灯	充電完了
すべて	A	赤	点滅 (0.5 ~ 1.5秒パターンの)	充電の問題

3.2.3 急速充電器

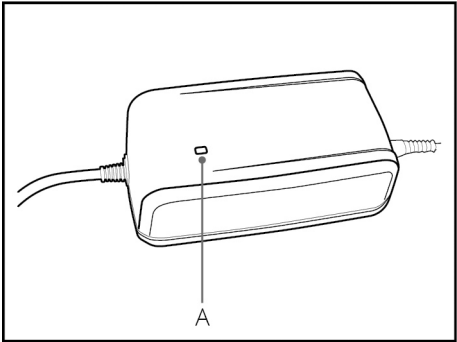
説明

- A。 ACソケット
- B。 充電器
- C。 LED
- D。 充電用ソケット



LEDの説明

A. LED



LED	色	動作	ステータス
A	赤	点灯	充電が有効
A	赤	点滅	充電の問題
A	緑	点灯	バッテリーなし/バッテリーフル充電

3.2.4 充電



注意：

- 接続する前に、必ずすべてのコネクターを正しく調整してください。
- EnergyPak/バッテリーの充電は室温 (±20°C)で行ってください。
- 0°C以下または40°C 以上での充電は、充電不足になったり、バッテリーの寿命に悪影響を及ぼすことがあります。
- EnergyPakをバイクで充電する時は、バイクが安定してしっかりと立つことを確認してください。
- 充電器をバイクに接続した状態で、バイクに腰掛ける、バイクを動かす、クランクを回すことはしないでください。

EnergyPakの充電

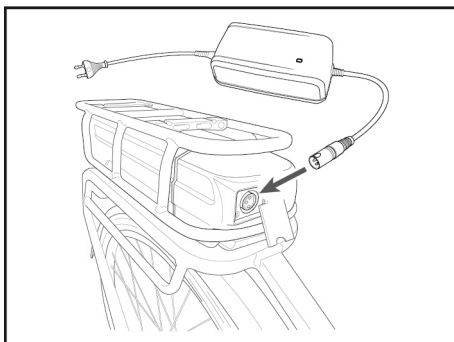
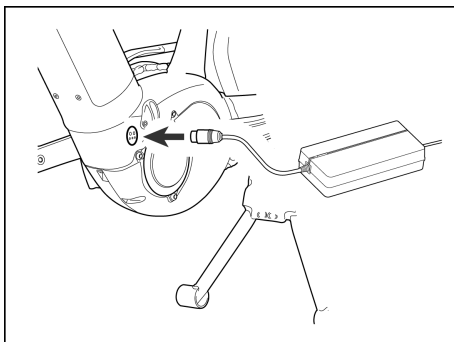
EnergyPakの取り付け

充電開始：

- 充電器をEnergyPakの充電ポートに接続します。
- 充電器をACコンセントに接続します
- 充電が開始します。

充電終了：

- ACコンセントから充電器を外します。
- 充電器をEnergyPakから外します。



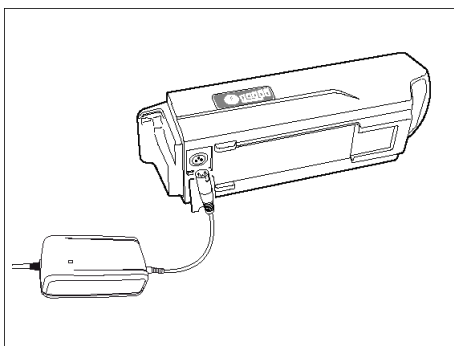
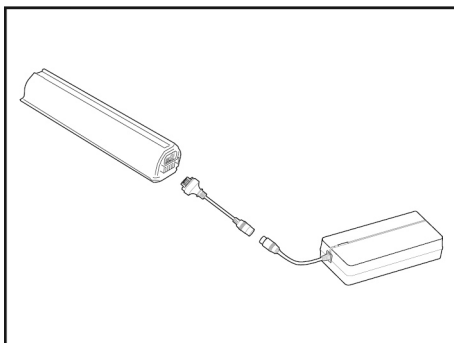
EnergyPakの取り外し

充電開始：

- バイクからEnergyPakを取り外します。
- 充電器をEnergyPakの充電ポートに接続します。
- 充電器をACコンセントに接続します
- 充電が開始します。

充電終了：

- ACコンセントから充電器を外します。
- 充電器をEnergyPakから外します。
- EnergyPakを自転車に戻します。



情報：

- 充電器のLEDが充電プロセスの状態を表示します。
- EnergyPakのLEDインジケータに、現在のエネルギーレベルが表示されます。
- 充電はいつでも終了/中断できます。



注記： EnergyPakが完全に充電されたら、充電器をEnergyPakおよびACコンセントから外します。

3.2.5 充電時間

急速充電器 (4A) のタイムテーブル (110 V / 200-240 V)

EnergyPakの容量	300 Wh		400 Wh		500 Wh	
AC電圧	110 V	200 ~ 240 V	110 V	200 ~ 240 V	110 V	200 ~ 240 V
80%充電	2時間20分	1時間45分	3時間	2時間	3時間40分	2時間45分
100%充電	4時間40分	3時間30分	6時間	4時間30分	7時間20分	5時間

スマート充電器 (4A) のタイムテーブル (110-240 V)

EnergyPakの種類	Smart 250	Smart (コンバクト)		Smart (内蔵型)					Plus
容量	250 Wh	375 Wh	500 Wh	400 Wh	500 Wh	625 Wh	750 Wh	800 Wh	250 Wh
60%充電	1時間20分	1時間20分	2時間	1時間50分	2時間	2時間30分	2時間50分	3時間30分	1時間20分
80%充電	2時間	1時間50分	2時間50分	2時間30分	2時間50分	3時間30分	3時間50分	4時間40分	2時間
100%充電	3時間30分	3時間40分	5時間10分	3時間55分	5時間10分	5時間50分	6時間40分	7時間20分	3時間30分

スマート充電器 (6A) のタイムテーブル (110-240 V)

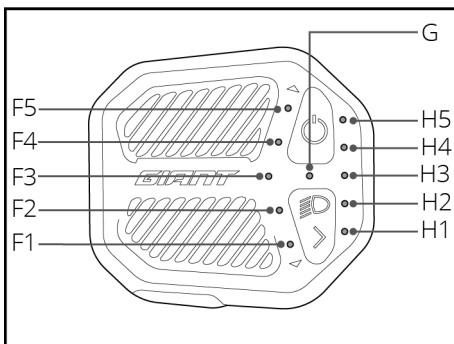
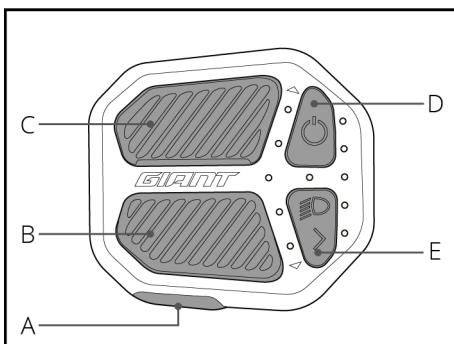
EnergyPakの種類	Smart 250	Smart (コンバクト)		Smart (内蔵型)					Plus
容量	250 Wh	375 Wh	500 Wh	400 Wh	500 Wh	625 Wh	750 Wh	800 Wh	250 Wh
60%充電	1時間20分	1時間5分	1時間30分	1時間20分	1時間30分	1時間50分	2時間10分	2時間15分	1時間20分
80%充電	2時間	1時間35分	2時間10分	2時間	2時間10分	2時間35分	2時間55分	3時間10分	2時間
100%充電	3時間30分	3時間20分	4時間10分	3時間30分	4時間10分	4時間40分	5時間10分	5時間40分	3時間30分

3.3 コントロール

3.3.1 RideControl Ergo

RideControl Ergoは、電源のオン/オフ、アシストレベル、スマートアシスト、ウォークアシスト、照明などの操作が簡単なコントロールを備えた人間工学に基づいたレイアウトを提供します。明るいLEDインジケータやRideDash EVOなどの画面により、視覚によるフィードバックを提供します。スマートフォンのRideControlアプリとEバイクを接続すれば、さらに多くの機能が利用できます。アップデートによりそれらの機能はさらに拡張していきます。

- A. ウォークアシスト
- B. アシスタンスレベルダウン
- C. アシスタンスレベルアップ
- D. 電源オン/オフ
- E. ライト/情報
- F. パワーアシストインジケータ
(LED5個)
- G. ライトインジケータ (白) / エラーインジケータ (赤)
- H. バッテリー残量インジケータ
(LED5個)



電源オン/オフ

- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (D) を押して、システムの電源を入れます。
- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (D) を1.5秒以上押し続け、ボタンを離してシステムの電源を切ります。
- ・ ライトインジケータLED (G) が3回点滅し、バイクの電源がオフになっていることを示します。

パワーアシスト

スマートアシスト (AUTO) :

SyncDriveモーターが状況に合わせて出力を自動で調整し、快適性と走行距離を最適化します。

- ・ 「アシストレベルアップ」 (C) または 「アシストレベルダウン」 ボタン (B) を2秒間押し続けると、スマートアシストが有効になります。
- ・ パワーアシスト表示LED (F3) が点灯し、スマートアシストが有効であることを示します。
- ・ RideDashが接続されている場合、スマートアシストレベルは画面上に「AUTO」と表示されます。
- ・ 「アシストレベルアップ」 (C) または 「アシストレベルダウン」 ボタン (B) を押して、手動アシストレベル選択に戻ります。



情報： スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル1～5 :

電動アシストレベルを手動で選択します。

- ・ 「アシストレベルアップ」 (C) または 「アシストレベルダウン」 ボタン (B) を押して、アシストレベルを変更します。
- ・ パワーアシストインジケータLED (F1～F5) が点灯し、選択したレベルを示します。
 - ・ F1は、パワーアシストが最小のレベルを示し、距離範囲が最大のレベルになります (ECOレベル) 。
 - ・ F5は、パワーアシストが最強のレベルを示し、エネルギー消費量が最も高くなります (POWERレベル) 。

アシストオフ :

電動アシストを使用せず、サイクルコンピューターとライト機能を使用して走行する場合があります。

- ・ すべてのパワーアシストインジケータLED (F) がオフになるまで、「アシストレベルダウン」 ボタン (B) を押します。
- ・ モーターアシストがオフになります。
- ・ 他のすべてのシステム機能は使用することができます。

ウォークアシスト

最高で6 km/h (4 mph) の速度に対応します。ウォークアシストは、最も低いギアで最も強力です。つまり、前部に最小のチェーンリング、後部に最大のスプロケットを配置しています。



情報：一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

- ・「ウォークアシスト」ボタン (A) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。
- ・パワーアシストインジケータLED (F) が前後に点灯します。
- ・「アシストレベルアップ」ボタン (C) を最大で3秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。
- ・「アシスタンスレベルアップ」ボタン (C) を放すと、ウォークアシストが停止または一時停止します。3秒以内にもう一度押すと、再び起動します。
- ・他のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報：「ウォークアシスト」ボタン (A) を押してから3秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。

ライト

- ・「ライト/情報」ボタン (E) を2秒間押し続けて、バイクのライトのオンとオフを切り替えます。
- ・ライトがオンになると、ライトインジケータ (G) が点灯します。
- ・S-Pedelec (高速Eバイク) では、バイクのライトはオフにすることはできません。「ライト/情報」ボタン (E) は、ロービームとハイビームを切り替えます。
- ・バイクのライトを点灯すると、RideDash EVO画面のバックライトは暗くなります。

バッテリー残量インジケータ

EnergyPakの残りのエネルギーレベルは、バッテリーレベルインジケータLED (H1〜H5) で示されます。各LEDは、EnergyPakの容量の20%を表しています。

- ・バッテリーの電力が10%未満になると、LED H1が白からオレンジに変わります。
- ・バッテリーの電力が3%未満になると、LED H1がオレンジ色に点滅します。最低アシストレベルに切り替わります。
- ・バッテリーの電力が1%未満になると、パワーアシストがシャットダウンします。それでも、ライトシステムは少なくとも2時間は機能し続けます。

情報ボタン

RideDashまたは他の互換性のある自転車コンピューターがシステムに接続されている場合、ライト/情報ボタン (E) を使用してさまざまな画面機能を制御することもできます。利用可能な機能は接続されているデバイスによって異なります。

システムイベント

システムイベント (誤動作) の場合、RideControlはイベントの表示を表示します。ほとんどのシステムイベントでは、電動アシストは停止します。照明インジケータ (G) が赤

く点滅します。パワーアシストレベルインジケータの1つ (F1～F5) がイベントインジケータとして点滅し始めます。

イベントの説明：

- F5:熱の問題
- F4:該当なし
- F3:速度センサーの問題
- F2:モーターの問題
- F1:バッテリーの問題

クイックトラブルシューティングの手順：

1. どのパワーアシストレベルインジケータが点滅しているかに注意してください (F1～F5)。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます (例：誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け)。
5. システムの電源を入れ直します。

問題が解決している場合：

- 通常に使用することができます。
- 正規取扱店/販売店での定期点検の予定を組みます。

問題が解決しない場合：

- 手順1～5を繰り返します。

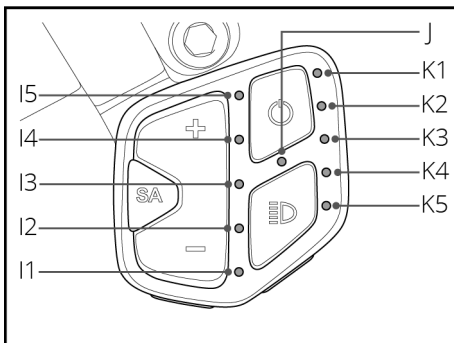
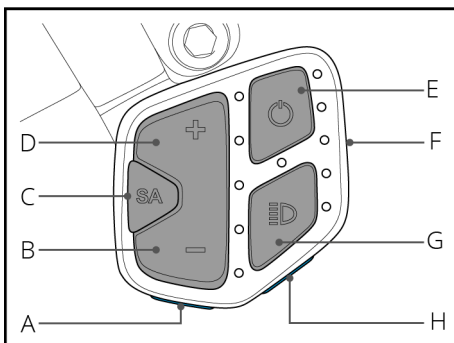
それでも問題が解決しない場合：

- 走行を中止します。
- 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.2 RideControl Ergo 2

RideControl Ergo 2は、電源のオン/オフ、アシストレベル、スマートアシスト、ウォークアシスト、照明などの操作が簡単なコントロールを備えた人間工学に基づいたレイアウトを提供し、USB充電ポートにより便利に充電できます。明るいLEDインジケータやRideDash EVOなどの画面により、視覚によるフィードバックを提供します。スマートフォンのRideControlアプリとEバイクを接続すれば、さらに多くの機能が利用できます。アップデートによりそれらの機能はさらに拡張していきます。

- A. 情報
- B. アシスタンスレベルダウン
- C. スマートアシスト (AUTO機能)
- D. アシスタンスレベルアップ
- E. 電源オン/オフ
- F. USB-Cポート
- G. ライト/スクリーンバックライト
- H. ウォークアシスト
- I. パワーアシストインジケーター (LED5個)
- J. ライトインジケータ (白) /エラーインジケータ (赤)
- K. バッテリー残量インジケータ (LED5個)



電源オン/オフ

- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (E) を押して、システムの電源を入れます。
- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (E) を1.5秒以上押し続け、ボタンを放してシステムの電源を切ります。
- ・ ライトインジケータLED (J) が3回点滅し、バイクの電源がオフになっていることを示します。

パワーアシスト

スマートアシスト (AUTO) :

SyncDriveモーターが状況に合わせて出力を自動で調整し、快適性と走行距離を最適化します。

- ・ 「スマートアシスト」ボタン (C) を押して、スマートアシストを有効にします。

- ・ パワーアシスト表示LED (I3) が点灯し、スマートアシストが有効であることを示します。
- ・ RideDashが接続されている場合、スマートアシストレベルは画面上に「AUTO」と表示されます。
- ・ 「アシストレベルアップ」 (D) または「アシストレベルダウン」ボタン (B) を押して、手動アシストレベル選択に戻ります。



情報： スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル1～5：

電動アシストレベルを手動で選択します。

- ・ 「アシストレベルアップ」 (D) または「アシストレベルダウン」ボタン (B) を押して、アシストレベルを変更します。
- ・ パワーアシストインジケータLED (I1～I5) は、選択したレベルを示します。
 - ・ I1は、パワーアシストが最小のレベルを示し、距離範囲が最大のレベルになります (ECOレベル)。
 - ・ I5は、パワーアシストが最強のレベルを示し、エネルギー消費量が最も高くなります (POWERレベル)。

アシストオフ：

電動アシストを使用せず、サイクルコンピューターとライト機能を使用して走行する場合があります。

- ・ すべてのパワーアシストインジケータLED (I) が消灯するまで、「アシストレベルダウン」 (B) ボタンを押します。
- ・ モーターアシストがオフになります。
- ・ 他のすべてのシステム機能は使用することができます。

ウォークアシスト

ウォークアシスト機能は、バイクを押して歩く時にアシストします。最高で6 km/h (4 mph) の速度に対応します。ウォークアシストは、最も低いギアで最も強力です。つまり、前部に最小のチェーンリング、後部に最大のスプロケットを配置しています。



情報： 一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

- ・ 「ウォークアシスト」ボタン (H) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。
- ・ パワーアシストインジケータが前後に点灯します。
- ・ 「アシストレベルアップ」ボタン (A) を最大で3秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。

- ・ 「パワーアシストアップ」ボタン (D) を放すと、ウォークアシストを停止または一時停止します。3秒以内にもう一度押すと、再び起動します。
- ・ 他のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報： 「ウォークアシスト」ボタン (H) を押してから3秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。

ライト

- ・ 「ライト」ボタン (G) を2秒間押し続けて、自転車のライトのオンとオフを切り替えます。
- ・ ライトがオンになると、ライトインジケータ (J) が点灯します。
- ・ S-Pedelec (高速Eバイク) では、バイクのライトはオフにすることはできません。「ライト/情報」ボタン (G) は、ロービームとハイビームを切り替えます。
- ・ 「ライト」ボタン (G) を押して、RideDash EVO画面のバックライトを明・ 暗・ オフに切り替えます。

バッテリー残量インジケータ

EnergyPakの残りのエネルギーレベルは、バッテリーインジケータLED (K1〜K5) で示されます。各LEDは、EnergyPakの容量の20%を表しています。

- ・ バッテリーの電力が10%未満になると、LEDK5が白からオレンジに変わります。
- ・ バッテリーの電力が3%未満になると、LEDK5がオレンジ色に点滅します。最低アシストレベルに切り替わります。
- ・ バッテリーの電力が1%未満になると、パワーアシストがシャットダウンします。それでも、ライトシステムは少なくとも2時間は機能し続けます。

情報ボタン

「情報」ボタン (A) は、RideDashまたは他の互換性のある自転車コンピューターのさまざまな画面機能を制御するために使用されます。利用可能な機能は接続されているデバイスによって異なります。

USB-Cポート

USB-Cポート (F) は、スマートフォン、バイク用ライト、バイク用コンピューターなどの外部デバイスに電力を供給したり充電したりするために使用できます。

- ・ USB-Cポートを使用するには、爪でカバーを持ち上げます。デバイスに合うケーブル (同梱されていません) を使って接続します。
- ・ ポートは、電源 (5V / 1.5A) 用のみです。データ転送には使用できません。



注意：

- ・ USB-Cポートは、雨天または湿度が高い環境では使用しないでください。
- ・ USB-Cポートに水・ 泥・ 埃などが入らないようにしてください。

- USB-Cポートを使用しない場合は、USBポートカバーをきちんと閉めてください。

システムイベント

システムイベント（誤動作）の場合、RideControlはイベントの表示を表示します。ほとんどのシステムイベントでは、電動アシストは停止します。点灯インジケータ（J）が赤く点滅します。パワーアシストインジケータLED（I1～I5）は、選択したレベルを示します。

イベントの説明：

- I5:熱の問題
- I4:該当なし
- I3:速度センサーの問題
- I2:モーターの問題
- I1:バッテリーの問題

クイックトラブルシューティングの手順：

1. どのパワーアシストインジケータLEDが点滅しているかに注意してください（I1～I5）。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます（例：誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け）。
5. システムの電源を入れ直します。

問題が解決している場合：

- 通常に使用することができます。
- 正規取扱店/販売店での定期点検の予定を組みます。

問題が解決しない場合：

- 手順1～5を繰り返します。

それでも問題が解決しない場合：

- 走行を中止します。
- 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.3 RideControl Ergo 3

この最新の制御システムは、ハンドルバーグリップと統合できるクリーンなボタンを備えています。

左側のハンドルバーにあるRideControlErgo 3は、アシスタンスレベルとウォークアシストモードを制御するために使用します。

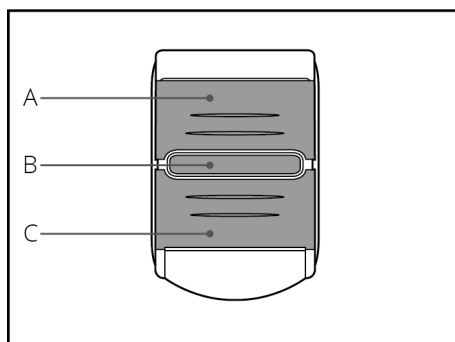
オプションの2番目のRideControlErgo 3は、右側のハンドルバーグリップに取り付けられており、ライト、スマートアシスト、RideDashEVOの表示機能などの機能を制御するために使用できます。この機能は、RideControl App (v1.8.1以降) を使用して設定できません。



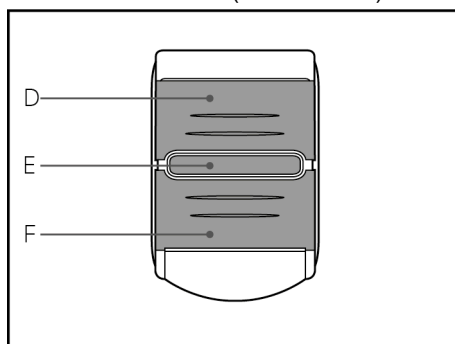
情報： RideControl Ergo 3は、RideControlGoと一緒にインストールする必要があります。

- A. アシスタンスレベルアップ
- B. ウォークアシスト
- C. アシスタンスレベルダウン
- D. ライト
- E. スマートアシスト
- F. 情報

レフトコントロール



ライトコントロール (オプション)



パワーアシスト

スマートアシスト (AUTO) :

SyncDriveモーターが状況に合わせて出力を自動で調整し、快適性と走行距離を最適化します。

- ・ 「スマートアシスト」ボタン (E) または 「アシストレベルアップ」ボタン (A) または 「アシストレベルダウン」ボタン (C) を3秒間押し続けると、スマートアシストがアクティブになります。



情報： スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル1~5 :

アシストレベルを手動で選択する方法

- ・ 「アシストレベルアップ」 (A) または 「アシストレベルダウン」 (C) を押して、アシストレベルを変更します。

ウォークアシスト

ウォークアシスト機能は、バイクとの歩行を支援します。最高で6 km/h (4 mph) の速度に対応します。ウォークアシストは、最も低いギアで最も強力です。つまり、前部に最小のチェーンリング、後部に最大のスプロケットを配置しています。



情報： 一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

- ・ 「ウォークアシスト」ボタン (B) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。RideControl GOのLED B1~B5が白く点滅します。
- ・ 「アシストレベルアップ」ボタン (A) を最大で3秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。
- ・ 「アシスタンスレベルアップ」ボタン (A) を放すと、停止または一時停止します。「アシスタンスレベルアップ」ボタン (A) をもう一度最大で3秒押し続けて、再度接続します。
- ・ RideControl Ergo 3のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報： 「ウォークアシスト」ボタンを押してから3秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。

ライト

- 「ライト」ボタン (D) を押して、バイクのライトのオンとオフを切り替えます。
- バイクのライトを点灯すると、RideDash EVO画面のバックライトは暗くなります。
- S-Pedelecs (高速電動バイク) では、バイクのライトをオフにすることはできません。「ライト」ボタン (G) は、ロービームとハイビームを切り替えます。

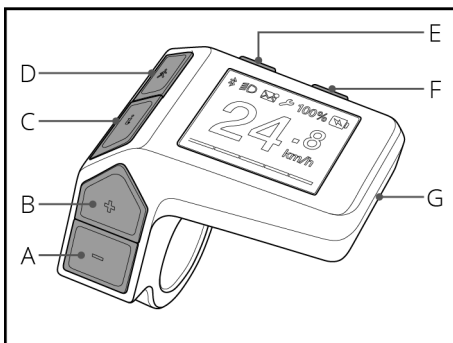
インフォメーション

「インフォメーション」ボタン (F) は、「RideDash」、「RideControl Dash」、またはシステムに接続されているその他の互換性のあるバイクのコンピューターのさまざまな画面機能を制御するために使用されます。特定の機能は、接続されているデバイスによって異なります。

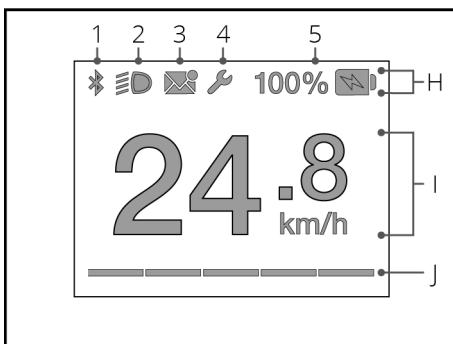
3.3.4 RideControl Dash

RideControl Dashはカラーディスプレイ画面搭載のリモートコントローラーで、EnergyPak、SyncDriveモーター、センサー、ライト、接続されているその他のEコンポーネントからのバイクやライドに関する幅広い情報を表示します。人間工学に基づいて左のハンドルバーグリップに取り付けます。1つのコンパクトなユニットでありながら、RideControl ErgoリモートコントローラーやRideDash EVOの様々な機能を提供することができます。

- A. アシスタンスレベルダウン
- B. アシスタンスレベルアップ
- C. 情報
- D. ウォークアシスト
- E. 電源オン/オフ
- F. ライト/スクリーンバックライト
- G. USB-Cポート
- H. ステータスバー
- I. データフィールド
- J. パワーアシストレベルインジケーター



- 1. ワイヤレス接続
- 2. ライトステータス
- 3. 電話通知
- 4. サービス
- 5. バッテリーステータス



情報：一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

電源オン/オフ

- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (E) を押して、システムの電源を入れます。
- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (E) を2秒間押して、システムの電源を切ります。

パワーアシスト

スマートアシスト (AUTO) :

スマートアシスト (AUTO) モードでは、SyncDriveモーターが自動的に出力を状況に合わせて調整し、乗り心地と航続距離を最適化します。

- ・ 「アシストレベルアップ」ボタン (B) と 「アシストレベルダウン」ボタン (A) を同時に2秒間押して、スマートアシストを有効にします。

アシストレベルを手動で選択する方法

- ・ 「アシストレベルアップ」 (B) または 「アシストレベルダウン」ボタン (B) を押して、アシストレベルを変更します。
- ・ パワーアシストレベルインジケータ (J) は選択したレベルを示します。

画面には、新しいアシストレベル名および推定航続可能距離が2秒間表示されます。その後、画面は更新されたレベルインジケータに戻ります。

画面

ステータスバー

ステータスバー (H) には、常にバッテリーの状態 (5) が表示されます。その他のアイコン (1~4) は、機能がアクティブの場合にのみ表示されます。

1. **ワイヤレス接続** : RideControlアプリを利用したバイクとスマートフォン間のアクティブなワイヤレス接続を示します。
2. **ライトステータス** : ライトのアイコンは、バイクのライトが点灯していることを示します。
3. **通知** : スマートフォンに新規または未読のメッセージがあることを示します。RideControlアプリ経由のみです。
4. **サービスインジケータ** : サービスインジケータ (レンチのアイコン) は、定期メンテナンスの時期になった場合、またはシステムイベント (不具合) が発生した場合に表示されます。
5. **バッテリー残量インジケータ** : バッテリー残量インジケータは、EnergyPakの現在の充電残量 (100% ~ 0%) が表示されます。
 - ・ バッテリー残量が3%以下になると、バッテリーのアイコンが点滅し始めます。最低アシストレベルに切り替わります。
 - ・ バッテリー残量が1%以下になると、バッテリーのアイコンが点滅します。電動アシストはシャットダウンされます。それでも、ライトシステムは少なくとも2時間は機能し続けます。



情報 : 本マニュアルに記載されるRideControlアプリの機能の一部は、現時点ではご利用いただけない場合があります。アプリのバージョン、Eバイクのモデル、コンポーネントのハードウェア/ファームウェアのバージョン、スマートフォンの使用、オペレーティングシステムなどにより、互換性およびご利用いただける機能が異なる場合があります。

データフィールド (I) :

データフィールド (I) は、特定の情報を表示するための単一のデータフィールドです。

データフィールドのオプション :

- SPEED : 現在の走行速度 (デフォルト)。
- RANGE : 現在のアシストレベルでの推定残存走行距離。
- ODO : 使用開始時から今までの総走行距離。
- DISTANCE : 最後にリセットした時からの走行距離。
- TRIP TIME : 最後にリセットした時からの走行時間。
- AVG SPEED : 最後にリセットした時からの平均速度。
- MAX SPEED : 最後にリセットした時からの最高速度。
- CADENCE : 現在のペダリング速度 (単位はrpm、一分間当りの回転数)。



情報 : 地形の特性、風の強さ・方向など、走行中の様々な状況により、実際の走行距離は異なる場合があります。

- 「情報」ボタン (C) を押して、別のデータフィールドに変更します。画面に新しいフィールドの説明が2秒間表示された後、新しいフィールドに切り替わります。

パワーアシストレベルインジケーター

パワーアシストレベルインジケーター (J) は、現在選択されているアシストレベルを、色が異なる5本のバーの列として視覚的に表します。

アシストレベルのオプション :

- オフ
- エコ
- ツアー
- アクティブ
- スポーツ
- パワー
- スマートアシスト (AUTO)



情報 : アシストレベルの可用性とレベルごとの電力比は、SyncDriveモーターのタイプと工場のシステム設定によって異なります。

ウォークアシスト

ウォークアシスト機能は、バイクを押して歩く時にアシストします。ウォークアシストは6km/h (4mph) の速度で動作し、最も低い (最も簡単な) ギアで最も強力です。

- 「ウォークアシスト」ボタン (D) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。
- 「アシストレベルアップ」ボタン (B) を最大で3秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。

- ・ 「アシスタンスレベルアップ」ボタン (D) を放すと、ウォークアシストが停止または一時停止します。3秒以内にもう一度押すと、再び起動します。
- ・ 他のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報： 「ウォークアシスト」 (D) ボタンを押してから3秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。

ライト/画面の明るさ

- ・ 「ライト/情報」ボタン (F) を2秒間押し続けて、自転車のライトのオンとオフを切り替えます。
- ・ ライトがオンになると、ライトインジケーター (2) が点灯します。
- ・ 「ライトボタン」 (F) を繰り返し押して、画面の明るさを低、中、高の間で変更します。

USB-Cポート

USB-Cポート (G) は、スマートフォン、バイク用ライト、バイク用コンピューターなどの外部デバイスに電力を供給または充電 (5 V / 1.5 A) するために使用できます。

- ・ USBポートにアクセスするには、隅を引き上げてカバーを持ち上げます。
- ・ 適切なケーブル (付属していません) を使用してデバイスを接続します。
- ・ 使用後は、USBポートカバーを正しく閉じてください。



注意：

- ・ USBポートは単なる電源コンセントです。データ転送には使用できません。
- ・ 濡れた状態や湿った状態でUSBポートを使用しないでください。
- ・ 液体、泥、汚れがUSBポートに入らないようにしてください。

設定

ディスプレイ単位の変更 (メートル/ヤード・ ポンド)：

- ・ 「情報」ボタン (C) を5秒間押し続けます。

サブデータフィールドのリセット：

- ・ DIST、TRIP、AVG SPDをクリアするには：
 - ・ 「アシスタンスレベルアップ」 (B) ボタンと「アシスタンスレベルダウン」 (A) ボタンを同時に3秒間押し続けます。
- ・ MAX SPDをクリアするには：
 - ・ MAXSPDデータフィールドまでスクロールします。
 - ・ 「アシスタンスレベルアップ」 (B) ボタンと「アシスタンスレベルダウン」 (A) ボタンを同時に3秒間押し続けます。

システムイベント

不具合が発生すると、システムイベント警告画面が表示されます。

- 警告画面が2秒間表示されます。
- イベントの説明が5秒間表示されます。
- 警告画面の後に走行画面に戻り、ステータスバーのサービスインジケータが点灯します。

クイックトラブルシューティングの手順：

1. イベントの説明をメモします。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます（例：誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け）。

システムの電源を入れ直します。問題が解決している場合：

- 通常に使用することができます。
- 認定ディーラーでサービスチェックをスケジュールします。

問題が再発する場合は、手順1-4を繰り返します。

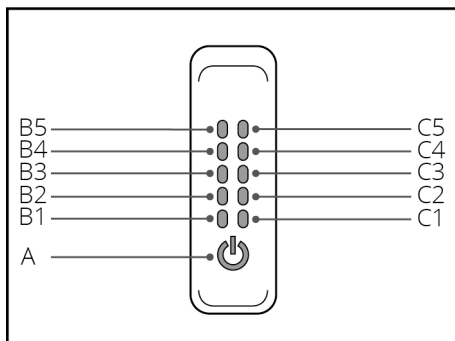
それでも問題が解決しない場合：

- 走行を中止します。
- 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.5 RideControl GO

RideControl Goは、トップチューブに統合された多目的コントロールボタンです。オン/オフボタンと色付きのLEDライトが特徴で、サポートモードとバッテリーレベルを示します。

- A. 電源オン/オフボタン//マルチカラーLED
- B. パワーアシストインジケータ（マルチカラーLED5個）
- C. バッテリーレベルインジケータ（マルチカラーLED5個）



情報： RideControl Goは、追加のRideControlErgoタイプおよびRideDash画面と組み合わせて使用できます。詳細は、最寄りの正規取扱店/販売店にお問い合わせいただくか、またはGiantのウェブサイトをご覧ください。

電源オン/オフ

- ・ 「電源オン/オフ」ボタン（A）を押して、システムの電源を入れます。
- ・ 電源を入れると、すべてのLEDインジケータが最初に白く点灯します。
- ・ 2秒後、インジケータにデフォルトのパワーアシストレベルとバッテリーレベルが表示されます。
- ・ 「電源オン/オフ」ボタン（A）を3秒間押し、ボタンを離してシステムの電源を切ります。
- ・ 電源を切ると、すべてのLEDインジケータが点灯し、白く点滅し、システムの電源がオフになります。



情報： Shimanoモーターの場合、「電源オン/オフ」ボタン（A）を0.5秒間押し続けて、システムの電源を入れます。

パワーアシストレベル

スマートアシスト(AUTO)

SyncDriveモーターは、出力を状況に合わせて自動的に調整し、乗り心地と航続距離を最適化します。

- ・ 「電源オン/オフ」ボタン（A）を2回押して、スマートアシストを有効にします。

- ・ パワーアシスト表示LEDB3が青色に点灯し、スマートアシストが有効であることを示します。
- ・ RideDashが接続されている場合、スマートアシストレベルは画面上に「AUTO」と表示されます。
- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (A) を押して、スマートアシストを無効にし、手動アシストレベルの選択に戻ります。



情報： スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル1～5：

パワーアシストレベルを手動で選択します。

- ・ 「電源オン/オフ」ボタン (A) を押して、アシストレベルを変更します。
- ・ 目的のアシストレベルが選択されるまで繰り返します。

パワーアシストインジケータLEDB1～B5は、選択したレベルを次のように示します。

アシストレベル	LEDオン	LEDカラー
パワー	1+2+3+4+5	レッド
スポーツ	1+2+3+4	オレンジ
アクティブ	1+2+3	イエロー
ツアー	1+2	グリーン
エコ	1	グリーン
スマートアシスト (AUTO)	3	ブルー
オフ	全てオフ	オフ

POWERレベル：Power Assistが最も強く、エネルギー消費量が最も多いレベル。

ECOレベル：パワーアシストが最も低い、距離範囲が最も高いレベル。



情報： アシストレベルのオプションはバイクモデルによって異なります

アシストオフ

電動アシストを使用せず、サイクルコンピューターとライト機能を使用して走行する場合があります。

- ・ すべてのパワーアシストインジケータLED (B) がオフになるまで、「電源オン/オフ」ボタン (A) を押します。
- ・ モーターアシストがオフになります。
- ・ 他のすべてのシステム機能は使用することができます。

バッテリーレベル

EnergyPakの残りのエネルギーレベルは、バッテリーレベルインジケータLED (C1-C5) で示されます。

バッテリーレベル	LEDオン	LEDカラー
80~100%	1+2+3+4+5	ホワイト
60~79%	1+2+3+4	ホワイト
40~59%	1+2+3	ホワイト
20~39%	1+2	ホワイト
10~29%	1	ホワイト
4~9%	1	オレンジ
0~3%	1	オレンジ点滅



注記： バッテリーの電力が1%未満になると、パワーアシストはオフモードに切り替わります。ライトシステムは最低2時間は機能し続けます

システムイベント

システムイベント (誤動作) の場合、RideControlGoはイベントの表示を表示します。

- すべてのアシストレベルインジケータLEDが3回白く点滅します。
- パワーアシストレベルインジケータLED (B1~B5) が点滅を開始し、イベントを示します。

イベント	LEDオン	LEDカラー
EnergyPakエラー	1	レッド点滅
SyncDriveエラー	2	レッド点滅
速度センサーエラー	3	レッド点滅
Smart Gateway/Remote/Displayエラー	4	レッド点滅
モーターがオーバーヒート	5	レッド点滅

クイックトラブルシューティングの手順：

1. どのパワーアシストレベルインジケータLEDが点滅しているかに注意してください (B1~B5)。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます (例：誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け)。

5. システムの電源を入れ直します。

問題が解決している場合：

- 通常に使用することができます。
- 正規取扱店/販売店での定期点検の予定を組みます。

問題が解決しない場合：

- 手順1～5を繰り返します。

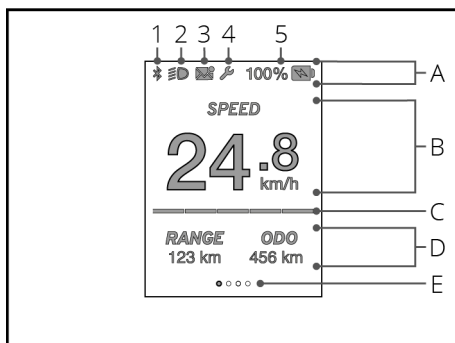
それでも問題が解決しない場合：

- 走行を中止します。
- 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.6 RideDash EVO

RideDash EVOは、ハンドルバーの中央に取り付けた美しいカラフルな大画面で、バイクやライドに関する様々な情報をライダーに提供します。RideControl Ergoシリーズで操作可能なこの画面には、速度、距離、バッテリーステータス、残り距離、およびその他の役立つ情報がはっきりと大きく表示されます。

- A. ステータスバー
 - B. データフィールド
 - C. アシストレベルインジケータ
 - D. サブデータフィールド
 - E. 選択ページインジケータ
- 1. ワイヤレス接続
 - 2. ライトステータス
 - 3. 電話通知
 - 4. サービス
 - 5. バッテリーステータス



ステータスバー

ステータスバー (A) には、常にバッテリーの状態 (5) が表示されます。その他のアイコン (1~4) は、機能がアクティブの場合にのみ表示されます。

- 1. **ワイヤレス接続** : RideControlアプリを使用した自転車とスマートフォン間の有効なワイヤレス接続を示します。
- 2. **ライトステータス** : ライトのアイコンは、バイクのライトが点灯していることを示します。
- 3. **通知** : スマートフォンに新規または未読のメッセージがあることを示します。RideControlアプリ経由のみです。
- 4. **サービスインジケータ** : サービスインジケータ (レンチのアイコン) は、定期メンテナンスの時期になった場合、またはシステムイベント (不具合) が発生した場合に表示されます。
- 5. **バッテリー残量インジケータ** : バッテリー残量インジケータは、EnergyPakの現在の充電残量 (100%~0%) が表示されます。
 - バッテリー残量が3%以下になると、バッテリーのアイコンが点滅し始めます。最低アシストレベルに切り替わります。
 - バッテリー残量が1%以下になると、バッテリーのアイコンが点滅します。電動アシストはシャットダウンされます。それでも、ライトシステムは少なくとも2時間は機能し続けます。



情報 : 本マニュアルに記載されるRideControlアプリの機能の一部は、現時点ではご利用いただけない場合があります。アプリのバージョン、Eバイクのモデル、コンポーネントのハードウェア/ファームウェアのバージョン、スマートフォンの使用、オペレーティングシステムなどにより、互換性およびご利用いただける機能が異なる場合があります。

メインデータフィールド

メインデータフィールド (B) は現在の速度を示します。

サブデータフィールド

サブデータフィールド (D) は、4ページに分割された詳細情報を示します。

1ページ (初期設定) :

- RANGE : 現在のアシストレベルにおける推定航続可能距離。*
- ODO : 使用開始時から今までの総走行距離。

2ページ :

- DIST : 最後にリセットした時からの走行距離。
- TRIP : 最後にリセットした時からの走行時間。

3ページ :

- AVG スピード : 最後にリセットした時からの平均速度。
- MAX スピード : 最後にリセットした時からの最高速度。

4ページ :

- CAD : 現在のペダリング速度 (rpm) (1分あたりの回転数) 。
- RANGE : 現在のアシストレベルにおける推定航続可能距離。*

*走行距離は推定の値です。地形の特性、風の強さ・方向など、走行中の様々な状況により、実際の走行距離は異なる場合があります。

ページを選択するには

すべてのRideControlErgoコントロールをオンにするには :

- 目的のページが表示されるまで、「情報」ボタンを押します。
- 「情報」ボタンを放します。

ページインジケータ

ページインジケータ (E) は、サブデータページの数を表示し、現在選択されているページを強調表示します。

アシストレベルインジケータ

アシストレベルインジケータ (C) は、現在選択されているアシストレベルを、色が異なる5本のバーの列として視覚的に表します。

アシストレベルのオプション* :

- オフ
- エコ
- ツアー
- アクティブ
- スポーツ

- パワー
- スマートアシスト (AUTO)

*アシストレベルの利用可能性およびレベルごとのパワーレシオは、SyncDriveモーターの種類や工場出荷時のシステム設定によって異なります。

画面には、新しいアシストレベル名および推定航続可能距離が2秒間表示されます。その後、画面は更新されたレベルインジケータに戻ります。

設定

メートル法とインペリアル法の間で表示単位の変更

すべてのRideControlErgoコントロールをオンにするには：

- 「情報」ボタンを5秒間押し続けます。

サブデータフィールドのリセット

すべてのRideControlErgoコントロールをオンにするには：

- DIST、TRIP、AVG SPDをクリアするには：
 - 「パワーアシストアップ」ボタンと「パワーアシストダウン」ボタンを同時に3秒間押し続けます。
- MAX SPDをクリアするには：
 - MAXSPDデータフィールドまでスクロールします。
 - 「パワーアシストアップ」ボタンと「パワーアシストダウン」ボタンを同時に3秒間押し続けます。

画面の明るさを低、中、高に変更

RideControl Ergo：

- 「ウォークアシスト」ボタンを2秒間押し続けると、次の輝度レベルに変わります。
- 2秒後にボタンを放します。

RideControl Ergo 2：

- 「ライト」ボタンを押して、次の輝度レベルに変更します。

RideControl Ergo 3をオンにするには：

- 「ライト」ボタンを押して、次の輝度レベルに変更します。

システムイベント

不具合が発生すると、システムイベント警告画面が表示されます。

- 警告画面が2秒間表示されます。
- イベントの説明が5秒間表示されます。
- 警告画面の後に走行画面に戻り、ステータスバーのサービスインジケータが点灯します。

クイックトラブルシューティングの手順：

1. イベントの説明をメモします。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます（例：誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け）。

システムの電源を入れ直します。問題が解決している場合：

- ・ 通常に使用することができます。
- ・ 認定ディーラーでサービスチェックをスケジュールします。

問題が再発する場合は、手順1-4を繰り返します。

それでも問題が解決しない場合：

- ・ 走行を中止します。
- ・ 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

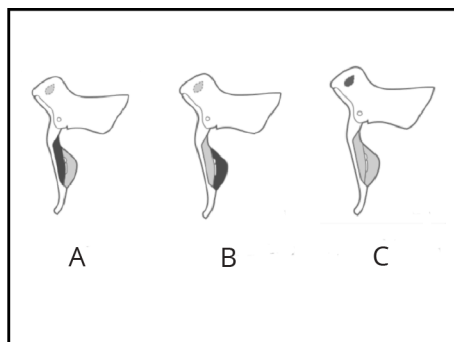
3.3.7 STIレバー

ボタンの機能は、RideControlアプリを使用して設定できます。STIレバーは特定のモデルでのみ使用できます。

STIレバー機能

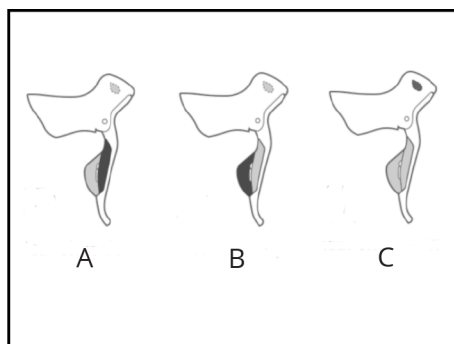
- A. アシストアップ
- B. アシストダウン
- C. リアシフトアップ

左STIレバー



- A. リアシフトダウン
- B. リアシフトアップ
- C. リアシフトダウン

右STIレバー



3.4 キー

一部のモデルには、バッテリーロックやバイクロック用の同一のキーを2本標準装備しています。そのキーのいずれかがなければ、ロックが外せません。



注記：

- メンテナンスや修理で取扱店/販売店を訪れる場合は、必ずキーをお持ちください。
- キーとキー番号のタグは、バイクのフレーム番号や他の書類と一緒に保管してください。
- 資格のある錠前屋にオリジナルキーの予備のスペアを作ってもらい、別のところに保管することをお勧めします。

3.5 走行距離

1回の充電の範囲は、次のようないくつかの状況に大きく依存します（ただしこれらに限定されません）。

- ライダー、同乗者、バイクに乗せた荷物を含めた車両総重量。
- 天候（周囲温度や風など）。
- 道路状況（高度や路面など）。
- バイクの状態（タイヤ空気圧やメンテナンス状況など）。
- 充放電サイクルの回数。
- EnergyPakの使用年数および状態
- バイクの使用（加速やシフティングなど）。
- 使用するアシストレベル。
- アシストレベルのユーザー設定（スマートフォンアプリ使用）。

4 運搬および保管

運搬



注意：

- 充電器やEnergyPakなどの着脱式（電子）パーツは、必ずEバイクから取り外した上で運搬する必要があります。
- Eバイク運搬に使用する車両や自転車用キャリアのメーカーによる取扱説明書には、必ず従ってください。



注記：

- Eバイクを悪天候の中で運搬するのは、できるだけご遠慮ください。
- 悪天候での運搬が避けられない場合は、露出するすべての電子部品を、運搬中に適切に保護してください。
- 風雨の中スピードを出すと、圧力により水滴が電子部品に入り込み、一次的な不具合や永久的な欠陥が生じる場合があります。
- こうした状況下での運搬後に不具合が生じた場合は、目的地についてからEnergyPakを取り外し、パーツをすべて自然乾燥します。

Eバイクの保管

できるだけ、Eバイクが風雨にさらされない場所に保管してください。



注記：

- 雪、雨、道路用塩や酸によって、Eバイクパーツの一部に腐食や劣化が起こる場合があります。
- 太陽からの紫外線はバイクの色あせや、ゴムやプラスチック部品に細かい穴、亀裂をおこす可能性があります。
- 保管中、過度に高い/低い温度に曝されると、一次的な不具合、または永久的な欠陥が生じることもあります。

バッテリーの保管

長期保管するには、EnergyPakの接続を切ってバイクから取り外します。



注意：

- EnergyPakは、乾燥した安全な場所に保管してください。
- EnergyPakは、-20°C ~ 20°C (-4°F ~ 68°F) で保管します。



注記：

- 20°C (68°F) を超える温度で保管すると、バッテリーの状態を悪化させ、寿命全体が短くなる場合があります。
- EnergyPakは、充電量約60%で保管してください。
- Eバイクを長期間保存する時は、EnergyPakの充電量を毎月チェックしてください。
- 充電量が60%未満になったらEnergyPakを充電します。
- EnergyPakは、少なくとも3カ月ごとに充電してください。
- EnergyPakを間違った方法で保管したり、長期間放置したりすると、容量の低下や欠陥が生じる可能性があるほか、製造保証が無効となる場合があります。

5 メンテナンス

定期メンテナンスとクリーニングは、最高のパフォーマンスや安全のために欠かせないものです。



情報： ウェブサイトや一般的なバイクオーナーズマニュアルのメンテナンスに関する情報も必ずお読みください。

お手入れ

柔らかい布やブラシにお好みで少量の中性洗剤をつけ、汚れを拭き取ります。その後、柔らかい清潔な布で乾拭きします。



注意：

- 洗浄に高圧水や高圧エアホースを使用しないでください。（密封された）電子部品に水が侵入し、不具合や欠陥を引き起こす恐れがあります。
- 水を多量に使用してEバイクの部品を洗浄しないでください。内蔵電子部品に水が進入した場合、不具合その他の問題を引き起こす可能性があります。



注記：

- 部品の洗浄には、中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤は、素材の劣化、変色、歪み、傷などの原因となる恐れがあります。

ドライブレイン



警告：

- チェーンの張りを点検する時は、必ずバッテリーを取り外してください。システムに電源が供給された状態でドライブレインに手（または手以外の身体の一部）を触れると、モーターが急に作動することがあります。



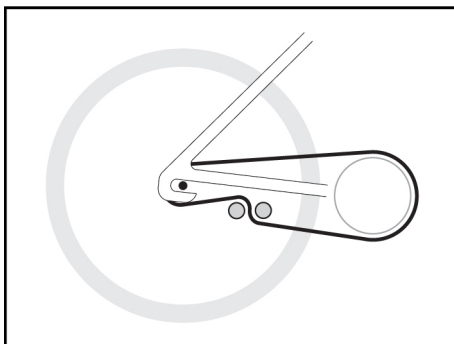
注意：

- 調整や交換作業はすべて、適切な工具を使用して行う必要があります。またそれらを行えるのは、適切な訓練を受けた整備士のみとなります。
- お使いのEバイクの技術的なメンテナンスに関する詳細やサポートについては、担当の取扱店/販売店までお問い合わせください。

チェーンの張り

一部のモデルでは、リアホイールにギアハブが内蔵されています。適切なチェーンの張りを維持する自動チェーンテンショナーが装備されている場合もあります。

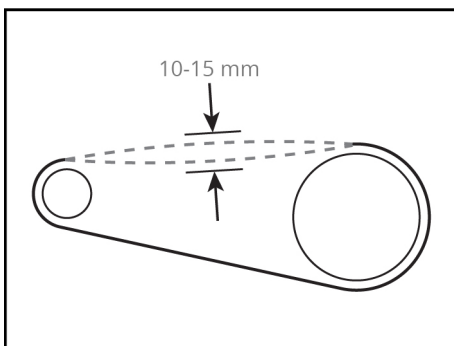
チェーンがかなり緩んでいる場合は、張りを調整するか、または摩耗したチェーンの交換が必要となる場合があります。



チェーンの張りの点検方法：

チェーンの張りを点検するには、クランクアームを回らないようにした上で、フロントスプロケットとリアスプロケットの間、チェーンの真ん中にあたる部分を持ちます。

- ・ チェーンを上下に動かし、チェーンの緩みを点検します。
- ・ 上下に10～15mm動かせる状態が適切な状態です。
- ・ この動きに大幅な大小が生じる場合は、担当の取扱店/販売店にお問い合わせの上、技術サービスをご依頼ください。



ベルトドライブ：

技術仕様および技術要件については、Eバイクに同梱されているベルトドライブのメーカーの取扱説明書をお読みください。

ベルトドライブが装備されているすべてのモデルに、ベルトの張りを調整するためのスライド式リアドロップアウトと張り調整用のねじが装備されています。ベルトドライブの調整手順は、チェーンの調整手順と同じです。

6 廃棄



欧州議会の指令2006/66 / ECによると、欠陥のあるまたは使用済みのバッテリー、バッテリーパック、または単一のセルは、別々に収集し、環境に優しい方法で廃棄する必要があります。

使用済みのセルとバッテリーはリサイクル可能な経済的なアイテムです。取り消し線が引かれたゴミ箱を示すマークに従い、これらのバッテリーは家庭ごみとして処分することはできません。



注記：

- 使用済みバッテリーは有害廃棄物として処理する必要があります。
- バッテリーは、関連する国の環境保護規則に従って廃棄する必要があります。
- バッテリーをリサイクル施設またはGiantの認定ディーラーに返却してください。
- よくわからない場合は、Giantのカスタマーサービス部門に連絡してください。

7 法的書類

7.1 保証

GIANT/Liv/Momentumは最初の所有者に対し、下記の指定期間、新しい各GIANT/Liv/Momentumブランドのバイクのフレーム、リジッドフォークまたは構成部品において、材料および製造上の欠陥がないことを保証します。

以下を含む電子機器に対しては2年間の保証。

- RideControlのディスプレイとボタン
- SyncDriveモーター
- EnergyPakバッテリー
 - 最大600回の充電で公称容量の60%
- 配線

電動バイクの最大許容総重量（バイク、ライダー、荷物）は156 kg（344ポンド）です。

その他のすべてのパーツおよびコンポーネントについては、このEバイクと共に納品される一般的なユーザーマニュアルで言及しています。ユーザーマニュアルは問題が発生した場合に有用です。以下および除外 54ページの情報は、参照のみを目的としています。

購入時には組み立てが必要です。

本保証はGIANT/Liv/Momentum正規取扱店/販売店で新しく購入され、購入時に取扱店/販売店によって組み立てられたバイクとフレームセットにのみ適用されます。

限定的救済

特段の記載がない限り、上記の保証または黙示の保証に対する唯一の救済手段は、GIANT/Liv/Momentumの単独の裁量によって同等またはそれ以上の価値のものと欠陥部品の交換に限定されます。本保証は購入日より発効し、最初の所有者にのみ適用されます。譲渡はできません。人身傷害による損害、物的損害、経済的損失を含むがこれらに限定されない、いかなる直接的、偶発的もしくは派生的損害についても、契約、保証、怠慢、製造物責任もしくはその他の法理論に基づくものであれ、GIANT/Liv/Momentumは一切責任を負いません。

GIANT/Liv/Momentumは明示または黙示を問わず、他の一切の保証を行いません。商品性および特定目的への適合性を含む、すべての黙示的な保証は、上記に明記されている保証期間に限定するものとします。本保証に対するいかなる請求も、GIANT/Liv/Momentum正規代理店を通じて行うものとします。保証請求の処理を進める前に、購入時の領収書もしくは購入日を証明するものがが必要です。

購入した国以外で行われる請求は、手数料や追加の制限事項が適用される場合もあります。保証期間と詳細はフレームのタイプや国によって異なる場合があります。本保証は、お客様に対して特定の法的権利を付与するものですが、お住まいの地域により、その他の権利が付与される場合があります。本保証は、お客様の法的権利には影響しません。

7.2 除外

組み立てや材料の欠陥がない状況でのタイヤ、チェーン、ブレーキ、ケーブル、歯車などの部品の通常の摩耗。

- Giant/Liv/Momentum認定ディーラー以外のバイク。
- 元の状態から改造したもの。
- 自転車の通常使用とは異なる状況での使用、競技、商業活動、もしくは設計された目的以外でのバイクの使用。
- ユーザーマニュアルに従わなかったことに起因する損傷。
- 大会、ジャンプ、ダウンヒル、またはこのようなアクティビティやイベントに向けたトレーニングに参加することに起因する、もしくはバイクを過酷な条件や気候にさらしたり、そのような状況で走行したことに起因する塗装の仕上げおよびデカールの損傷。
- パーツの交換や切り替えにかかった人件費。

本保証に定める場合を除き、Giant/Liv/Momentumおよびその従業員および代理人は、Giant/Liv/Momentumバイクに起因または関連するいかなる損失または損害（過失または不履行に起因する付随的損失・損害および派生的損失・損害を含みます）に対しても責任を負わないものとします。

7.3 適合性



サポートされる最高速度が45km/hのハイブリッド電動自転車は、L1e-Bカテゴリーの車両に関するEU指令168/2013/ECの要件を満たします。

サポートされる最高速度が25km/hのハイブリッド電動自転車は、EU機械指令2006/42/ECの要件を満たします。

ライダーの耳元でのA特性音圧レベルは、70dB(A)未満です。

これらの自転車は以下の非整合規格にも準拠します。

- 自転車規格：ISO 4210-2
- 電動自転車：EN 15194

ご手元のEバイクの適合宣言は、このユーザーマニュアルに記載されています。

7.4 免責事項

バイクを改造しないでください。改造とは、標準装備の取り外しや交換、もしくはその他の方法でバイクの設計や動作を変える可能性のある変更をバイクに加える行為です。これに該当する変更は、バイクの操作性、安定性、その他の側面を深刻に損ない、バイクを安全にお使いいただけない状態に変える可能性があります。また改造により、保証書が無効になったり、適用される法律や規制にバイクが適合しなくなったりする可能性があります。安全性、品質、信頼性を保証するため、修理や交換には、GIANT/Liv/Momentum純正部品またはGIANT/Liv/Momentum認定交換部品のみを使用してください。GIANT/Liv/Momentumは、身体の障害、財産の損害、経済損失を含むがこれらに限定されない直接的、付随的、または結果的損害の責任を負いません。

7.5 FCC

本機器は、FCC規則パート15に準拠しています。操作は、次の2つの条件に従うものとします。

1. 本機器が有害な障害を生じないこと、および
2. 本機器の動作に望ましくない影響が及ぶような干渉を含め、本機器が受信したあらゆる干渉を受け入れること。

準拠の責任を負う当事者の明示的な承認を受けず変更または改造を行った場合、本機器の運用に関するユーザーの権限は無効となる場合があります。



情報：本機器は、FCC規則パート15に従い、クラスBデジタルデバイスの制限を満たすことが試験で証明されています。これらの制限は、住宅地での使用において、有害な干渉が生じないように適切に保護する目的で設けられています。本機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放出する可能性があります。このため、指示に従って設置・使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を生じるおそれがあります。ただし、特定の設置状況において、干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオまたはテレビの受信障害を発生させているかどうかは、本機器の電源をいったん切って再起動することで確認できます。干渉がある場合、以下のいずれかの方法により干渉を解消するようにしてください。

- 受信アンテナの方向または設置場所を変更する。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続先の電気回路とは別の電気回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの取扱経験が豊富な技術者に相談する。

本機器は、制御されていない環境に対してFCCが規定する、無線周波数の暴露限度に準拠しています。

本機器は、装置とユーザーまたは第三者の間の距離を5mm以上にして設置・操作する必要があります。

本機器は、他のアンテナやトランスミッターと同じ場所に設置したり、一緒に操作したりすることはできません。

7.6 IC

本機器は、カナダ産業省の免許不要RSSに準拠しています。操作は、次の2つの条件に従うものとします。

1. 本機器が障害を生じないこと；
2. 本機器の動作に望ましくない影響が及ぶような干渉を含め、本機器があらゆる干渉を受け入れること。

本機器は、制御されていない環境に対して規定されたイノベーション・科学・経済開発省（カナダ）が規定する、無線周波数の暴露限度に準拠しています。

本機器は、装置とユーザーまたは第三者の間の距離を5 mm以上にして設置・操作する必要があります。

本機器は、他のアンテナやトランスミッターと同じ場所に設置したり、一緒に操作したりすることはできません。

